

ております。それでは、届け出順に発言を許します。16番、小川廣康君。

○議員（16番 小川 廣康君） それでは、皆さん、おはようございます。新政会所属の小川廣康でございます。

まず冒頭に、去る9月4日夕方に発生をいたしました、観光客が白嶽にて行方不明になった件につきまして、必死の捜索の結果、3日目に無事発見・保護をされました。関係者の皆様、特に生業の傍ら、市民の生命・財産を守るために頑張っておられます消防団員の皆様に心から感謝を申し上げます。

しかし、この件について通告はいたしておりませんが、この危機管理体制について、もし議長の許可が得られるならば、考え方だけでもお伺いをいたしたいと思います。

この件は、9月4日夕方発生をいたしまして、5日朝に美津島町洲藻の白嶽登山口に対策本部が設置をされました。なぜそのときに、地元の行政サービスセンターのほうには連絡が行かなかったのか、そういうシステムなのか、もし議長の許可が得られれば、冒頭お考えをお聞かせ願いたいと思います。

また、きのう、対馬観光物産協会のブログを拝見をいたしておりますと、いろいろ検証がなされているようでございます。私も数年前、頂上までには行かなかったわけですが、鳥居のあるところまで行ったことがございますが、やはり誘導標識といいますが、そういうものがやはりこれは不備だなと感じました。

その後、どのようになっておるかわかりませんが、観光協会のブログによっても、そういう点が検証されております。

もちろん、洲藻集落の、今、公衆トイレがある、あそこ、第2駐車場という看板がかかっておりますが、あそこまではおのずと市道です、あの道路は、それから先は、あそこは林道だろうと思うんです。そういうことで管轄がどこになるのかわかりませんが、やはりこの問題は観光客だけじゃなくて、やはり対馬島民の登山愛好家もよく利用されるコースでございます。

今回は上見坂口からの登山で、洲藻登山口に下がってくるコースと聞いておりますけど、もう一回そこらあたりの検証をお願いできないか、この件についてもお伺いをしときたいと思います。

さて、本題に入りますが、7月に執行されました参議院選挙におきましては、対馬市は県内13市の中で一番高い投票率を上げることができました。ここに、選挙管理委員会の投票に対する啓蒙のあり方に対し敬意を表したいと思います。この中で、市民皆様の確かな投票行動に対しましてもお礼を申し上げたいと思います。

しかし、一点、国政選挙等の期日前投票の方法について問題を提起をしておきたいと思います。

これは、公示日の翌日からは期日前投票が実施されるわけですが、対馬市の場合は本庁のみ、ほかの活性化センター、振興部あたりは1週間後だったと記憶しておりますが、このたびの検証

が、選挙管理委員会等で検討された結果、こういう方法をとっておられると聞いておりますが、これは知事選挙、国政選挙はこういう方法でやられておりますが、この件についても、答弁は求めませんが、問題提起をしておきたいと思えます。

さきの3月の対馬市長選挙におきましては、多くの市民皆様の支援をいただき、比田勝市政が誕生して約半年を経過をしようとしております。国境離島新法成立後は、その組み立て、予算確保のために走り続けている市長に対し、改めてエールを送りたいと思えます。

自民党本部におきましても、該当自治体を支援するために、有人国境離島地域保全・振興議員連盟が設立されたと聞いております。対馬再生元年という意気込みで、市民はもとより、島外の対馬を思う人々の負託に応えられるよう、県並びに国会議員の先生方のお力添えをいただきながら、頑張ってくださいことを冒頭お願いをしておきたいと思えます。

今回は3項目6点について通告をいたしております。

まず、1項目めの農業振興の方向性についてであります。平成23年10月より、南阿蘇家畜市場での子牛販売開始以来、価格が安定し、生産意欲も向上し、頭数も微増しております。また、現在の子牛価額は高値安定取引が続いておりますが、繁殖雌牛の増頭と繁殖率を上げることが急務であると思えます。

また、TPPの影響を考えたとき、どのような生産コストの削減策を講じようとしているのか、お示しをいただきたいと思えます。

2点目のシイタケの生産拡大についてであります。福島原発事故以来、風評被害等から長期間価格低迷が続き、植菌量も減少し、生産量も減少しています。対馬椎茸やる倍ナバダス計画総合対策支援事業に取り組んでいますが、安定生産、安定収入の確立を図るために、どのような対策を講じようとしているのか、お伺いをいたします。

3点目のカンショの作付拡大につきましては、対馬の伝統的食品でありますろくべえを島内外へ売り出そうと、比田勝市長はされております。原材料のカンショの生産基盤が危惧をされます。耕作放棄地等の活用により生産基盤を確立する必要はないのかお伺いをいたします。

4点目は、配送センターの設置を所信表明されましたが、農水産物を安定的に供給できるシステムの構築は必要だと思えます。具体的な計画があれば、お示しをいただきたいと思えます。

2点目の市営住宅のあり方についてであります。美津島町の夕日ヶ丘団地と雞知団地については入居応募を中止していますが、今後の計画についてお伺いをいたします。

3項目めの学校教育環境の整備についてであります。美津島町の雞知中学校は、昭和43年以降、築後約50年を経過をしようとしています。現在は空き教室もなく、平成32年度には1クラス増え、教室不足が発生をいたします。これも将来的な考えを教育長のほうにお伺いをいたしたいと思えます。

市長、教育長の簡単明瞭な、短時間のうちに答弁をいただきますようよろしく願いいたしまして、質問の内容によりましたら、一問一答方式で再質問をさせていただきます。

よろしく願いいたします。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） おはようございます。

まず冒頭、このたび発生いたしました韓国人遭難者の捜索についての危機管理体制のあり方ということで御質問をいただきました。このことにつきまして若干触れてみたいと思いますが、このたび、9月4日午後に対馬南警察署から事件発生の一報が入っております。そういった関係で、翌朝から捜索を開始しているような状況でございました。そういう中で、今回この捜索の開始情報が、美津島町の行政サービスセンター管内に情報が行ってないというようなことでもございましたが、今後、この遭難者を含む行方不明者などの捜索においても、早期発見の観点から幅広い情報提供が必要であると考えておりますので、今後慎重に対応してまいりたいというふうに考えております。

それとまた、この白嶽の登山道の案内板の設置等におきましても、これも順次整備する必要があるというふうに考えております。

また、可能であれば、携帯電話の充電設備なども、重要なポイントには設置できるように考えてまいりたいというふうに考えております。

さて、本題の答弁のほうに入りたいと思います。

まず、農業振興の方向性についての中、肉用牛の増頭計画についてでございますが、肉用牛の増頭計画につきましては、議員御承知のとおり、平成23年10月より南阿蘇家畜市場へ子牛を出荷するようになって以降、高値で安定した取引が行われております。生産者の意欲も向上し増頭につながるなど、対馬の農業にとりまして、極めて明るい状況となっております。

しかしながら、この高値は例を見ない価格でありまして、肥育農家の経営と先行き不透明なTPPの影響を考えたときに、その反動が危惧されるところでもあります。

そのような中、市では平成27年度から31年度までの5カ年計画で、肉用牛生産基盤安定奨励事業として、みんなで牛をCOWCOWプランを策定し、放牧飼育によるコスト削減を初め、多頭飼育農家に対する飼料費の一部助成と共同飼育に係る牛舎の建設及び農機具等の購入助成、また、増頭を目的とした牛舎の増築に要する助成などを行っているところでございます。

今後想定される子牛価格の低迷と、先行き不透明なTPPの影響を考慮し、足腰の強い畜産農家とするため、基本的にはこの計画に基づき増頭を進めるものでありまして、具体的な飼養頭数の目標につきましては、目標年次である平成31年度までには、500頭まで増頭したいと考えているところでございます。

続きまして、2点目のしいたけの生産拡大についてでございますが、現在、対馬市におきましては、対馬椎茸やる倍ナバダス計画、平成26年度から30年度まででございますけれども、これに基づき、シイタケ生産体制から流通、販売体制に至るまで一体となった取り組みを行っているところでございます。

東日本大震災に端を発したセシウム風評被害により単価が暴落しておりましたが、全農乾しいたけ市場における平均単価の推移は、再生産価格と言われる3,500円を大きく上回り、最近では、5,500円前後で取引されております。

また、セシウム風評被害により、平成23年度以降、生産量は減少しておりましたが、平成27年度から生シイタケ及び乾シイタケともに増加傾向にあります。

本年度におきましては、原木林の賦存量状況調査事業により、原木林の現況調査や原木林所有者の原木売買意向調査を実施し、生産者が安定生産できる体制を整えることにしております。

さらに、販売流通体制につきましては、全国におけるデパート、百貨店における催事出展、商談会等へ出席し、対馬シイタケの普及PR活動等を通して、販路拡大に取り組んでいるところでございます。

続きまして、3点目のカンショの作付拡大についてでございます。

対馬には、希少性の高い農産物、加工食品が複数存在していますが、後継者不足等により栽培、加工継承が困難になっております。

対馬の伝統発酵食品せんについても例外に漏れず、継承が困難になっており、その希少価値を解明するなど、東京農業大学による研究成果が得られており、今後、農産物、加工食品及び栽培加工技術の客観的、学術的評価や付加価値への期待ができることから、平成28年6月7日、東京農業大学と対馬市とで包括連携協定の締結を結んでおります。

現在、大学では、昨年の対馬学フォーラムでも発表がありましたが、ろくべえの食感の形成機構を解明し、その知見を生かした製造技術の簡略化についての研究が行われております。

結果といたしまして、製造技術の簡略化が可能であることは示唆されておりますが、本来のろくべえの食感の再現にまでは至っていないため、さらに研究が進められるなど、現在のところ、製造方法の確立までには至っておりませんが、対馬の伝統発酵食品せんの継承に向け、連携した取り組みを進めてまいります。

また、カンショの作付面積の拡大につきましては、まだ、せんの製造方法の確立に至っていないことから、全体量が見えておりませんので、計画を立てるまでには至っておりません。状況を見ながら今後検討してまいりたいと考えております。

次に、供給センターの位置づけでございます。本件は、平成28年6月、第2回定例会での会派代表質問にて、大部議員さんから御質問を受けておりますが、御承知のとおり、対馬には多

くの観光客が来島しております。

しかしながら、対馬の新鮮な魚介類などを提供できる飲食店等が少なく、島の魅力を十分発信することができていない現状であります。

まずは、関連する団体が連携するためにも、協議の場としてプロジェクトチームを立ち上げ、島内における需要と供給の現状調査を行い、配送センターの場所や運営主体などについて検討してまいります。

対馬ならではの流通システムの配送センターを整備することにより、対馬らしい料理を地元民や国内外から対馬に訪れる観光客に食べていただくことで、観光の掛け算による食の拡大を図ってまいりたいと考えております。

続きまして、市営住宅のあり方についてでございますが、市内では、49団地132棟767戸の公営住宅を管理しております。そのうち雞知団地におきましては、17棟56戸を管理しているところでございます。

雞知団地につきましては、中の町、上の町、夕日ヶ丘の3地区に分かれて建設しております。内訳につきましては、中の町は10棟18戸のうち4棟11戸が空き家となっております。上の町は1棟6戸のうち1戸が空き家で、夕日ヶ丘団地は、6棟32戸のうち8戸が空き家となっております。

この中の町10棟の木造住宅につきましては、耐用年数を超過しており、上の町、夕日ヶ丘団地の7棟の鉄筋コンクリートづくりにおきましては、耐用年数に達しているもの及び残存年数が4年から1年となっており、非常に老朽化が進んでいるところでございます。

このような状況を考慮し、対馬市公営住宅等長寿命化計画において、雞知団地全ての建てかえを行うことで計画をされた次第でございます。

したがって、雞知団地におきましては入居募集を停止して入居者を減らし、係る建てかえを円滑に行えるよう対処しているところでございます。

雞知団地の今後のスケジュールでございますが、対馬市公営住宅等長寿命化計画に基づき、建てかえを進めていくことはもちろんでございますが、建てかえを実施するには、入居者の合意形成等が必要であり、時間を要することが懸念されるところでございます。

しかしながら、中の町の木造住宅10棟のうち4棟が空き家となっております。このうちの2棟につきましては、老朽化の度合いが著しく、ひどい状態で、周辺の環境等を損ねている状況でございます。よって、この2棟につきましては、本9月補正に計上しておりますので、御決定賜り次第解体したいと思っております。残る2棟につきましても、早期に解体を行いたいと考えております。

以上でございます。

○議長（堀江 政武君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） おはようございます。

学校教育環境の整備につきましては、児童生徒が一日の大半を過ごす場所であることを深く認識し、教育委員会といたしましては、安全、安心で快適な教育環境を整備することを重点施策として実施しているところでございます。

御指摘のありました雞知中学校につきましては、平成32年度には、中学1年生の入学予定者が81名となり、1年生が3クラスになることが予想されており、あわせて、特別支援学級につきましても、知障、情緒、病弱の3クラスが必要な状況となっております。

現状と比較いたしますと、新たに普通教室1カ所、特別支援教室2カ所が必要となります。

文科省の基本的な考え方といたしましては、老朽化に伴う大規模改造から、コストを抑えながら建てかえと同等の教育環境の確保を行う長寿命化改良事業へと方向性がシフトされてきたこともあり、教育委員会といたしましても、長寿命化改良事業について検討を進めてまいりたいと考えているところでございます。

雞知中学校につきましては、校舎本体は平成元年度に大規模改造、平成25年度に校舎耐震工事を実施してまいりましたが、平成32年度には、普通教室を含めて新たに3教室が必要になることから、本体校舎のみでの対応が難しいこともあり、増築を行う予定といたしております。

以上でございます。

○議長（堀江 政武君） 小川廣康君。

○議員（16番 小川 廣康君） それでは、残り時間が26分になりました。今回、質問のちょっと項目が多かったのもありますが、本会議始まりまして、ほかの議員さんの通告書見ますと、ダブる点がございます。

まずシイタケにつきましては、後日初村議員がシイタケ関係で質問をする予定になっておりますので、これはもう、あとは再質問はやめたいと思いますが。

ちょっと、今、先ほどの市長の答弁の中で、私の聞き違いかどうかわかりませんが、まず市営住宅問題から確認をしていきたいと思いますが、先ほど、雞知団地、俗に言う中の町、上の町の雞知団地4棟が、今、空き家ということになっておりますが、それでよろしいんですか。

今、お手元に、私がけさ、市長、副市長、総務部長、建設部長、農水部長、美津島の活性化、この住宅の地図やってますが、今、この赤で、これ、私の近所だからわかるんですが、赤で入れているのが現在入居されてる方ですね。そして、その中のほうの甲と書いてあるところが、今、1、2、3、4、5、5棟の残っとるんですよ。建設部長、現地を確認されてますかね。4棟で間違いないですか、4棟で間違いない。私も、じゃあ、後で確認をしてみましよう。

そのうちの、今、入居されてる方が6世帯、これも間違いないですかね、建設部長。市長に、

入居者数、今の。今、お手元に資料を配付している分です。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 私のほうにある資料におきましては、この中の町の団地につきましては、10棟18戸のうち、4棟11戸が空き家となっているというような資料を、こちらのほうは持ち合わせております。

○議長（堀江 政武君） 16番、小川廣康君。

○議員（16番 小川 廣康君） ですから、今ここに、私、資料を出してますでしょ。赤いの出してますでしょ。これは現在、今、入居されてる方でしょ。ですね。入居されてる方。甲の722の、722のこれ、2軒長屋ですから2世帯入ってます。6世帯と私は思います。それは数字の誤差、建設部長もよく確認を、私は、していただきたいと思います。

それから、市長、次のページの写真、私が添付してありますね、これ2枚目の資料ですね、この写真の。これが現況ですよ。これも数年こういう状態になってるんですね。これ市営住宅です。ですから私は、今回この一般質問をしようとしたときに、私は建設部の管理課のほうにお伺いをいたしました。そうすると、「いや、いろいろと予算を要求してるんですが、非常に厳しいんです」ということで、もちろん、当初予算、6月、ついておりませんです。

私が7月の終わりから8月に言ったときにも、ちょっと今回は厳しいんですよということ返事を伺ってましたので、私は今回、市長に対して一般質問をしたわけですが、その後、実は、きのう、おととい、決算委員会、私の所管ですが、建設委員会の補正第4号の中で、2棟三百三十何万円かの補正がついております。

私は、だからそういうやり方ではだめですよ。ですから、基本的に、本来ならば、当初予算で組んで、足らなければ、また6月で組む、またこの9月で組むとか、1度じゃなくてですね、そういうやり方をしていただかないと、私が一般、とりようによっては、私が一般質問で取り上げたから、この前担当部長に言いましたけど、「後出し予算ではだめですよ」と、そういうことを私は、部長、課長には言っておりましたので、しかし今回は、今回の補正では2棟、330万です。

あと残るのは最初の棟数が、私の、ちょっと1棟ありませんのでね、いずれにしてもあと2棟か3棟が残るんですよ。私は、この、今の、今度の急遽補正に組まれた2棟の分がどの棟かまだ確認しておりませんが、じゃあ、あとの分はどうするんですか。

これ見てください。この写真。人様には見せられない写真ですから、私はあえて担当部だけに見せておりますけどね。これは、本当、町の中です。これ以外にも、大船越にもあります。ほかにいっぱいあるんじゃないですか。あの市営住宅の中には、借地のまま、そのまま建ってるところもあるでしょうし、ここは市の土地ですから、まあまあということですが、やっぱりもう一度

ですね、現地を確認しながら、優先順位をつけながら進めてくださいよ。

こうして言われたから云々じゃなくて、やっぱり基本的な考え方を、やっぱりもう少し示していただきたいと、私はそういうことでお願いをしておきたいと思います。まあ、こればかりは、できませんので、もう一回現地を確認をしてみてください。

何か言うことがありましたら、どうぞ。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） この中の町の住宅についてでございますけども、特にこの中の4棟が危険な住宅であるというようなことで、このたびの補正にも計上させていただきました。残る2棟については、もう早いうちに解体をやろうということで計画をいたしております。そしてまた、ほかの残る住宅につきましても老朽化が激しいということで、対馬市公営住宅等長寿命化計画に基づきまして、来年度、平成29年度に設計等に取りかかる予定という計画であります。

よろしくお願いたします。

○議長（堀江 政武君） 16番、小川廣康君。

○議員（16番 小川 廣康君） はい、わかりました。じゃあ、早急に、まあ、ここだけじゃなくてほかのところも照らし合わせながらやっていただきたいと思います。

じゃあ、この写真のですね、市長、この写真の、市長、この写真の一番左上。これは2世帯のうちの1戸なんです。これはもうどうしようもないんです。これ、ここは解体できないんです。ですからこういうところは、もう台風時期ですからですね、これいつ飛んでもしょうがない状態なんです。ですから、何かネットを張るとか、ここは、この下は、老人ホームに行くあの道路ですよ。しょっちゅう、しょっちゅう車が、お年寄りもあそこを散歩したり、老人ホームの車がどんどん行って、上にもあの民間のアパートがありますし、しょっちゅう車、交通量の多いところなんです。こういうのをやっぱり見せたくないからですね、できたら対処してもらいたいと思います。

そしてまた、法律も変わりましたですね、特に町なかにも、空き家になって持ち主のいない、いつ崩れてもいいような住宅が、田舎もそうですが、見られますよ。これも、今、法が変わりまして、行政がそこに絡んでもいいような法律ができましたですね。そういう時期で、市の財産がこういう状態では市民に対しても「じゃあ、解体しなさい」とか、そういうこと言えませんよ。ですから、それを申し添えておきます。ちょっと時間とりましたですね。ちょっと数字がかみ合いませんでした。

それから、教育長のほうにちょっと、あっ、教育長に行く前に、あとのちょっと問題ですね、配送センターの件につきましては、前回うちの代表がいましたからわかるんですが、この件につきましても私の意図するところは、後日、船越議員が御質問されるようですが、それとちょっと



絡みがございますので、もう具体的には触れませんが、やっぱり抜本的な考え方といたしますか、島内を網羅した農林水産物の、その拠点を私はお願いしたいということで、今回質問しましたので、この件については質問内容が船越議員とかち合いますので、後日よろしくお願ひしときたいと思います。

それから、教育長、学校問題に入ります。

教育長も苦しい立場は重々理解できます。雞知中学校の校長を勇退されて、教育長に御就任、遅くなりましたけども、おめでとうございます。前任者の梅野教育長も雞知中学校の校長、勇退されて教育長に就任しました。何かの因縁でしょう。私は雞知のことばかり言いますが、ほんとにその文科省のいろいろそりゃいいでしょう。しかし、一番ね、教育長が一番わかってると思うんですよ。あれで今から補修、補修していったいいんですか。今度また3クラスあそこに、今浄化槽のあるところに増築をされますね。そしてこの水道関係が1,700万か800万の予算ですかね、水道、もう赤さびが出る水道ですから、それもやりかえます。

そして、今まであそこは単独浄化槽でしたので今回2,700万の予算がつきまして、合併浄化槽に移行されますね。本体の、本校舎、あれ、昭和43年ですかね、44年の3月にできたと思います。果たしてそういうことでもいいんでしょうか。私は、雞知中学校だけじゃなくて、例えば巖原小学校はもっと古いですよ。私は前行きましたけど、外廊下で雨の降ったときは滑って転んで、まあ、あそこはいま空き教室がありますから……。果たしてそういう考え方でいいんでしょうか。

私が言いたいのは、基本的な、いつも市長も教育長も言われます、「教育は対馬の宝、子供は対馬の宝だ、一生懸命頑張ります」と言いますが、やはり先ほど冒頭、答弁の中で、子供たちが大半を学校で過ごすんだから、なんだかんだ言いますが、それは十分に理解できますが、果たしていいんですか、そういうことで。私、基本的にですね、計画をやっぱり立ててもらえないかなと、誰かのときに。今ずうっと先送り、先送りになっているようなので、私少しは気になるんです。

で、今回、例えば、今回浄化槽の工事が2,700万含まれております。私も気になって、気になって現地に足を運びましたら、校長先生と聞きましたら、あそこに特別教室の隣、横に簡易水洗のトイレがございます。教育長が一番知っていると思いますが。あその分もてっきり私は浄化槽をですね、そこのトイレの横を流入管が通るもんですから、てっきりそこに入るとか思ったんですよ。簡易水洗の汚泥がね。それは違うんです、予算が。教育委員会からの話では、そりゃ、今までどおりなんですって。「何で」と言ったんです。せっかくつくるのに、そりゃ遠いところならわかりますよ、すぐトイレの横を流入管が通るとに、何でそこ、3メートルか5メートルかある引き込みをすればいいのに、何で引き込まないの。予算がとか、いや、今までの分を

改修ですから、今までの分を、単独の分を合併にするだけです。ああ、そうですか、といってそのときは別れましたですけどね。

そして、教育長、見てください。この2枚目の雞知中学校のトイレですね。これも本当は人には見せたくないです。ですから、教育長と予算執行者の市長と副市長と総務部長に渡してありますけど。

結局、今私が言います簡易水洗のトイレ、これ女子用が4つあるんですね、今。教育長は一番わかっていると思いますけど。男子用が大のほうに3つあるんです。行きましたら、写真のとおりテープが張ってあります。使用禁止。女子トイレは4個のうちの3個が使用禁止。男子トイレは3個のうちの大のほうに、3個のうちの1個が使用禁止。私は、ですから、いつか、教育委員会にお願いをしてトイレの設置、生徒に対するトイレ数の数を調べて、お聞きしましたら、雞知中学校は断トツに少ない。これは、その使用されてないトイレもその数の中に入っているんですけどね、その積算の中でも一番悪いと。

ですから、これは、予算がつかないから、だからせつかくここを通るとに何でできないのかな。私が、もし、私が自分のうちが、自分のうちを合併浄化槽にするなら、私はしますよ。幾らか手出しをしてでもですね。確かに学校だからいいのかなと思います。

そして、市長、ですから、市長のほうにもこれ、トイレの写真があると思いますけどね。そして、これが、こういう状態が、例えばですよ、例えば、市の管理している公民館とか、そういう観光施設とか、こういう場所だったらどうしますかね。それは相当な批判が出るでしょうに。私は、学校だからいいのかと。子供が文句言えないから。校長先生もなかなかやっぱ言えないでしょ、教育委員会に対しては。私はね、そこらあたりを、もし私が、ふと考えましたよ、これがもし、例えば、交流センターでもいいでしょう、あそこあるうちの、4つあるうちの3つがもし使用禁止、それも何か月か、話によると古いやつはもう大分前からずっとそういう状態になってるそうです。

ですから、教育行政とその市長部局との連携ですね、私は、これをほんとに言っておきたいと思います。ですから、教育長、もう少し市長部局とよくすり合わせをお願いしてですね、それは私は教育長の仕事だと思いますよ。新たな構想を立てるのは。ただ学校教育云々じゃなくて、やっぱり学校施設関係についても、いかに市長部局から予算を勝ち取るか。けんかでもしてくださいよ。ほんとに子供はかわいそうです。

で、もう今月の18日に今度、運動会なんですよ。運動会するときどうするんですか、これね。まさか、サービスセンターに行ったり、ほかのところに行くわけにもいかんでしょうけど、その対応方についてもですね、現場は非常に困っております。よろしく願いしときます。

教育長もわかっているように、なかなか現職の校長先生でなかなかやっぱし言いづらいじゃな

いですか、要求はするにしてもですね。そこらあたりをよく教育委員会がよくくみ取っていただいて、それを市長部局のほうにつないで、なるだけ言葉だけじゃなくて「子供は対馬の宝だ」と言いながら教育現場はこういうことですので、あえて私はこれを申しましたので、今後よろしくお願いをしておきたいと思います。

そういうことで、市長、その点はくれぐれもですね、さっき私は、雞知団地の補正のつき方については、ついたから喜ばばいいんじゃないかという問題ではないと思います。それはですね。逆にじゃあ、予算はつけましたよと、つきましたよと、電話一本ぐらい、じゃあ、補正もつきましたからとか、財政のほうにお願いしたらこうしてつきましたからとか、そういう連絡だけでもいいじゃないですか。私は、きのうの、おとこの補正予算のときの、初めて担当部長から聞きましたのでね。後出しでも結構ですけど、そういう考え方じゃなくて、お願いをしておきたいと思います。

戻りますが、畜産の件についてはですね、まあ、今いいんですよ、高値で推移されておりますから。いいんですが、私が一番心配するのは、今はいいけど、今特に若い新規就農者が入って来ますね。やっぱしこの人たちに、私は、ある程度継続して経営ができるようなシステム、言葉悪いんですけど、もう今は高齢化してる高齢化農家の一、二頭飼いはいいでしょう、安くなれば。私は、この問題が長くは続かないと思います。TPPの関連もありますし、今、肥育農家が非常に苦しんでおりますのでね。ですから、いつ肥育農家が手を挙げたときには、またうちのこの繁殖産地がこれが痛手をこうむる。だから、そういうときのために……。私は、この前、農協とも話しました。市の担当とも話しましたが、今高いうちにですね、昔、子牛、安くなったときの子牛価格安定基金というのがありましたよ。30万かそこら下がったら2万上げますよとか。ですから、今は、その逆バージョンで、これが対馬版として農協さんどうかならんですかね。今、例えば80万ですよ、相場がですね。だから、それは60万を超えて、もうその売り上げの何%かを自分たちで基金に積んどこうやと、後々のために。まあ、それにも市も幾らか加担してもいいじゃないですか。

そうしていかないと、今、さっき市長が答弁されました、施設もつくります、機械も入れます、牛舎も補助します、それはいいですよ、ハード事業は。私が心配しているのは、その後ですよ、その後。ですから、今のうちに、何らかの手を打つ方法はないのかと、いうことを検討を私は農協にもお願いしましたし、この前担当職員にもそういう方法も考えてみてはどうねということをおっしゃったので、これは、部内でも検討してみてくださいよ、今のうちに。そうしなきゃ、また若者、せっかくUターンして来たりして畜産、30頭規模、40頭規模をやり出した農家が、夢が持てるでしょうかね、10年、20年後。だから、そこらあたりの、今のうちに、私は、安くなってバタバタするよりも高値で推移しとるうちに、いまのうちに何かを、そういう対馬独自

の基金を農協も出す、生産者も出す、市もそれに幾らか出す、幾らか基金を積んで、特に若者が継続して畜産の経営ができるようなそういうシステムをとっていただきたいと思います。あとは職員とのやり方だと思いますが、その点について考えがあればお聞かせ願いたい。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 小川議員さんがですね、おっしゃられるように、現在、子牛の価格が暴落した場合は、肉用子牛生産者補給金制度がございます。これは黒毛牛の場合が33万7,000円、で、赤牛の場合が30万7,000円ということになっておりますけども、議員さんおっしゃられるように、今の牛の高いうちにこちら辺で基金制度が構築できないものか、農協、そしてまた生産者の皆様と今後協議を進めてまいりたいというふうに考えます。

○議長（堀江 政武君） 16番、小川廣康君。

○議員（16番 小川 廣康君） 教育長、もとに戻りますけど、その、今、雞知のその合併浄化槽の件につきましてはですね、また検討してみてくださいよ。また後で、後でまたやると、また、また余分な金がかかるんじゃないでしょうかね。今、私は、例に、さっき写真をお見せしましたように、現状はそうですから。まあ、これをまた、今、簡易水洗のまま、また補修すると、やっぱ、また金がかかるでしょう。それ、後でまた、合併浄化槽にしたら、また便器までかえてこなきゃいけないという、また、二重の経費がそこにかかりますよ。ですから、いつやるのか。誰かじゃないですが、今じゃないですか。今やるべきですよ。トイレの補修についてもですね。ですから、それ検討して、教育部長、財政のほうとやりおうて、どうかしてみてくださいよ。子供がかわいそうですよ。うん。もし自分の子供がそういうところに通っていたらどうしますか。

はい、わかりました、もう時間がありません。

比田勝市長が誕生して初めて、これ、つくづく見さしてもらったんです。いいスクラムですね、これ。チーム対馬でということで、議会、市民、行政が一体となって次なるステージへ進むということです。まあ、しかし市長は、高校時代は剣道で、今は剣道の師範、プロですけど。私は高校時代少しラグビーちょっとした経験があるんですが、スクラムというのは非常に難しいですよ。特に前列の3人ね。ほんとに同じ気持ちで、同じような心構えで前に進まないスクラムが回ったりして、反則になります。ですから、私はね、この絵はいいんですが、やっぱしね、そのスクラムの前列のそのフロントローの1列目は、市職員が組んでくださいよ、市職員で。そして2番目の、セカンドロー、そこは私たち議会でも何でもいいじゃないですか。そしてあとのバックローの3列目は市民も何も一緒になって押そうやて、そういうスクラムの組み方を。まず、市の職員が前列をスクラムを力合わせて同じ気持ちで進んで、そして議会、市民の皆様をお願いしますよというスクラムの組み方がね、一番いいんじゃないでしょうか。

そういうことで、今後のその市長の市政運営に期待をしたいと思います、私も、またまた農

業問題かと言われますけど、私も零細農家の長男坊としてね、15の春から農業を学んできました。農家留学じゃありませんけど、専業農家に下宿して日曜日も土曜日も、農業を加勢しながら勉学をしてきました。まだまだ、私の域には達しませんけど、やっぱり農業は基盤ですから、堆肥、堆肥生産もする畜産は特にですね、今後とも、それに力を入れていただきたいと思います。

時間オーバーしまして申し訳ありません。これで私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（堀江 政武君） これで小川廣康君の質問は終わりました。

○議長（堀江 政武君） 暫時休憩します。再開は11時5分からとします。

午前10時51分休憩

午前11時04分再開

○議長（堀江 政武君） 再開します。

17番、大部初幸君。

○議員（17番 大部 初幸君） おはようございます。17番、新政会の大部です。今回は、市長、ちょっと今までの形と変えて、ちあきなおみさんふうでいこうと思っているんですよ。それというのも、4つのお願いをするもんですから、頼んでおきます。

まず、第1点目です。美津島町平瀬原地区の公民館の新設について。

この質問は、21年の9月、23年の6月、24年の6月、27年の3月の定例議会で一般質問させていただき、今回で5回目の一般質問となります。

この平瀬原地区は大船越と久須保に境界がまたがっており、土地の区画はまだたくさん残っております。昨年も新築が建ち、ことしも新築が建築されています。この12月ごろまでには、もう一件の家が建築をされます。52世帯から増えつつ、160名を超えた住民が住んでおります。近くには大船越小学校、大船越中学校もあり、ここから見る朝日はすばらしく、正月の初日の出を見に来られる人もたくさんおります。そのような、景観のよい地区です。これから先も住宅は増えていくと思われま。

そのような地区ですが、この地区には、集会施設がなく、区民の総会やいろんな集会、またイベント、行事等は大船越地区の公民館等を借りて行事等を執り行っております。大船越地区の公民館までは、歩いてはなかなか遠くて行けません。お年寄りとか、車等を持たない人は、出席しようにも出席できずに困っております。

このような不便さを被っている平瀬原地区の住民が、長い期間にわたり待ち望んでいる集会施設の新設をしていただけないのかをお尋ねします。